

# 令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 東京都介護福祉士会

設立年月日

平成26年1月15日（任意団体設立：平成6年10月15日）

会員の状況（令和5年3月31日現在）

種類	当期末	前期末比増減
正会員	1,129名	-63名
賛助会員	8名	-4名

主たる事務所の状況

事務所：東京都江東区猿江1丁目3番7号 パーク・ノヴァ猿江恩賜公園102

職員に関する事項

職員数		前年末比増減
合計	0名	1名

「公益社団法人東京都介護福祉士会定款」第4条に定める次の事業

- (1) 介護福祉士の知識及び技術向上のための研修及び育成事業
- (2) 介護の実態及び技術等の介護福祉に関する調査研究に関する事業
- (3) 介護人材養成研修及び現任研修事業
- (4) 介護従事者等に対する介護相談及び情報提供等の介護福祉の普及啓発事業
- (5) 介護福祉を通じて、東京都民の社会福祉の増進や権利擁護に資する事業
- (6) 公益社団法人日本介護福祉士会との連絡調整及びその事業への協力に関する事業
- (7) 福祉サービス第三者評価事業
- (8) その他公益目的を達成するために必要な事業

を行うため、以下の事業を実施した。

- (1) 介護福祉士の知識及び技術向上のための研修及び育成事業

(ア) 介護福祉士基本研修（6時間×4日間、計24時間を年1回）

公益社団法人日本介護福祉士会が介護福祉士の生涯研修体系の中に位置付けている基本研修を、「介護過程の展開」を中心とした内容で、介護福祉士資格取得後2年未満の初任者を対象として実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
8月28日(日) 9月4日(日) 9月11日(日) 9月18日(日)	8/28 (講義)・生涯研修制度における基本研修の位置づけ ・介護過程を展開する前提として ①求められる介護福祉士像 ②生活支援としての介護の視点 ③自立支援の考え方 ④介護福祉士に求められる知識と技術 9/4 (講義)・介護過程の基礎的理解 ①介護過程の意義と目的 ②介護過程の具体的な展開 ③介護過程とチームアプローチ 9/11 (演習)・介護過程の展開の実際 事例1「障害者支援施設で生活するAさんの事例」(4H) 事例3「自宅で生活するEさんの事例」(2H) 9/18 (演習)・介護過程の展開の実際 事例3「自宅で生活するEさんの事例」(2H) 事例2「介護老人保健施設で生活するCさんの事例」(4H) ・研修のまとめ	道灌山学園保育福祉専門学校	11名*

\*11名のうち1名は前年度の補講

(イ)ファーストステップ研修 計232時間(通学116時間15日間、課題学習116時間、年1回)

公益社団法人日本介護福祉士会として取り組むべき研修の位置付けで行うものであり、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係を任用することが期待できるレベルの、視点や技術を有する職員を養成することを目的として実施した。(1時間を45分換算とする)

日時	内容等	会場	参加者数
8月17日(水) 9月23日(金) 10月10日(月) 10月17日(月) 10月29日(土) 11月4日(金) 11月5日(土) 11月20日(日) 12月3日(土) 12月10日(土) 1月11日(水) 1月22日(日) 2月11日(土) 2月25日(土) 3月4日(土)	利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開 介護職の倫理の実践的理解と展開 コミュニケーション技術の応用的な展開① コミュニケーション技術の応用的な展開② ケア現場での気づきと助言① ケア現場での気づきと助言② 家族や地域の支援力の活用と強化 職種間連携の実践的展開 観察・記録の的確性とチームケアへの展開 チームのまとめ役としてのリーダーシップ セーフティマネジメント 問題解決のための思考法 介護職の健康・ストレスの管理 自職場の分析 総合評価	北とぴあ 東京YMCA医療福祉専門学校	12名*

\*12名のうち1名は部分受講・7名は前年度の補講

(ウ)認定介護福祉士養成研修

介護福祉士には、利用者ニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職等との連携強化など、幅広い役割が求められてきている。また、利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダーとしてとりまとめ、サービスの質の向

上のために人材育成に取り組むことが重要である。さらに、地域包括ケアの推進には、利用者に寄り添う専門職として、より広い視野をもった介護福祉士が必要になり、資質向上の責務が課せられていることから、今後はさらに介護福祉士のキャリアパスが重要になってくると考えられる。介護福祉士を取得後も継続的な教育機会を提供し、資質の向上、社会的な要請に応えていくことを目的とした介護福祉士のキャリアアップの仕組みとして、認定介護福祉士養成研修を実施する。

実施せず

#### (エ)実務者研修教員講習会

3年以上の実務経験を有する者が介護福祉士国家試験を受験するために受講が必須となる実務者研修（450時間）の円滑な実施に資するため、その教員養成を目的として本講習会を実施する。

実施せず

#### (オ)介護福祉士実習指導者講習会

厚生労働省が定める養成カリキュラムの中の実習は実習指導者資格が必須となっているため、介護福祉士養成カリキュラムの「介護実習」を指導する社会福祉施設等の実習指導者を対象に、必要な専門的知識及び教育方法の習得、資格要件を付与すること等を目的として本研修を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
7月15日(金) 7月18日(月) 7月29日(金) 7月30日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の基本(2H)</li> <li>・実習指導の理論と実際(4.5H)</li> <li>・介護過程の理論と指導方法(6H)</li> <li>・スーパービジョンの意義と活用及び実習生の理解(7H)</li> <li>・実習指導の方法と展開(3H)</li> <li>・実習指導における課題への対応(1.5H)</li> <li>・実習指導者に対する期待(1H)</li> </ul>	調布市民文化会館 たづくり	8名 うち1名 は前年度 の補講
1月30日(月) 2月3日(金) 2月6日(月) 3月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の基本(2H)</li> <li>・実習指導の理論と実際(4.5H)</li> <li>・介護過程の理論と指導方法(6H)</li> <li>・スーパービジョンの意義と活用及び実習生の理解(7H)</li> <li>・実習指導の方法と展開(3H)</li> <li>・実習指導における課題への対応(1.5H)</li> <li>・実習指導者に対する期待(1H)</li> </ul>	調布市民文化会館 たづくり	8名

#### (カ)サービス提供責任者研修

介護保険の訪問介護サービスにおけるサービス提供責任者の役割は非常に重要である。在宅での介護の需要が増える中、適切に役割を果たせるサービス提供責任者を養成する。

実施せず

#### (キ)多職種連携研修会

介護福祉士と他職種との連携は重要な課題である。医療職やリハビリ職等他の職種の役割を理解しながら、地域ケア会議やサービス担当者会議等において適切に情報の発信や発言ができる人材の育成を目的として本研修を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
11月20日(日) - 12月19日(月)	会員向け支援力向上研修(オンライン) 失語症の理解とコミュニケーション方法	YouTube 配信	24名
3月15日(水)	障害福祉部スキルアップ研修/神経性難病の方へのコミュニケーション支援研修	フェニックス すぎなみ	16名
		合計	40名

(2) 介護の実態及び技術等の介護福祉に関する調査研究に関する事業

(ア) 調査・研究事業

根拠のある介護を実践するためには、介護福祉士自らが調査・研究を行い、介護を取り巻く社会の事象や、介護行為の有効性を明らかにしていくことが重要である。介護に関する現状を把握するための調査、介護の質向上のための研究等を、外部助成金等の競争的研究資金の活用も視野に入れて検討・実施する。これらについては、各事業部等にて計画を策定し実施する。

実施せず

(3) 介護人材養成研修及び現任研修事業

(ア) 一般研修(1回3～6時間(ZOOMは1.5時間)、18日間、年16回)

介護職のスキルアップを目的として、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の施設サービスや訪問介護、デイサービス等の在宅サービスに従事する者を対象に、介護職としての職業倫理、認知症ケア、介護技術、レクリエーション、コミュニケーション、障害者支援、最新の介護保険法や関連法、高齢者や障害者の医療知識、業務に必要な記録などの研修会を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
11月5日(土)	ICT研修:新しいテクノロジーの導入で介護現場は変わる	北とぴあ	21名
12月3日(土)	レクリエーションアクティビティ研修・交流会「年末年始を楽しもう！」	北とぴあ	4名
1月10日(火) - 2月9日(木)	会員向け支援力向上研修(オンライン) 認知症多職種連携におけるチームケア	YouTube 配信	24名
1月22日(日)	研修・座談会/介護施設での障害者雇用 介護施設でいいね!～共に働くこれからの障がい者雇用～	北とぴあ	11名
2月25日(土)	訪問介護サービスに求められる障害者の在宅生活支援/支援者・当事者の方から学ぶ	北とぴあ	22名
		合計	82名

(イ) 同行援護従業者養成研修一般課程及び応用課程

障害者総合支援制度では、視覚障害者のサービスの一つである「同行援護」が地域自立生活、ひいては共生社会に向けての重要な鍵となる。介護福祉士が、障害をもつ人々の生活を支援する専門職として、資質の向上と地域福祉の増進を目的として本研修を実施する。

実施せず

(ウ) 行動援護従業者養成研修課程

障害者総合支援制度では、知的・精神障害者のサービスの一つである「行動援護」が地域自立生活、ひいては共生社会に向けての重要な鍵となる。介護福祉士が、障害をもつ人々の生活を支援する専門職として、資質の向上と地域福祉の増進を目的として本研修を実施する。

実施せず

#### (エ)外国人材と協働するための研修

外国人介護職員が働く事業所が増えている昨今、文化や習慣の違い、適切なコミュニケーションの方法について学び外国人介護人材とより良く協働していくための方法を学ぶため本研修を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
9月15日(木)	介護職種の技能実習 指導員講習 (日本介護福祉士会委託事業)	貸会議室 内海	11名
1月15日(日)	1 技能実習指導員の役割 2 移転すべき技能の理論と指導方法 3 技能実習指導の方法と展開 4 技能実習指導における課題への対応	道灌山学園保育福祉専門学校	31名

#### (オ)介護福祉士受験のための養成講座

介護の専門職を育成することを目的とし、介護福祉士国家試験受験のための養成講座として、受験予定者を対象に受験対策講座及び模擬試験を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
11月20日(日)	令和4年度介護福祉士国家試験 全国一斉模擬試験 (筆記)	北とぴあ	19名

#### (カ)介護支援専門員スキルアップ研修

主に介護福祉士を持つ介護支援専門員に対しスキルアップを目的として、ケアマネジメントやアセスメントの視点、介護支援専門員に必要な他職種との連携、関連法等の内容について研修会を実施する。

実施せず

#### (4) 介護従事者等に対する介護相談及び情報提供等の介護福祉の普及啓発事業

##### (ア)ニュース発行 (年4回、うち紙面版年2回・Web版年2回)

会の活動である研修、イベント、地域ブロック活動の周知と活動報告、政策動向に関する情報提供等、会員に発信し、会員の自己研鑽やスキルアップを図った。また、会員の寄稿や施設・事業所の職場紹介などを通じ、会員相互の交流や介護従事者の入会の促進につなげる。

さらに、研修会で会員以外の受講者にニュースを配布、介護のイベントなどで一般都民に配布し、広く介護の啓発活動に貢献した。

No.143 令和4年4月27日 (WEB版)

No.144 令和4年9月1日

No.145 令和4年12月26日 (WEB版)

No.146 令和5年1月5日

##### (イ)講師派遣

他団体からの依頼に応じて、職場内研修や家族介護者への介護指導など介護福祉に関する研修に対し、会員を講師として派遣した。同時に、現任職員を対象とした講師養成研修を実施し、会員のスキルアップと知識や技術を伝えられる人材の育成を図った。

日時	担当	内容等
1月5日(木)	西東京ブロック	出張授業 日本福祉教育専門学校共催

## (ウ)国際協力活動

国際事業部は、日本で就労する外国人介護職の支援、EPA 介護福祉士及び候補者に対する支援、その他介護福祉士の国際協力に関する事項等について検討、支援を行うものである。その為に、研修・交流会・国際協力セミナー等を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
11月27日(日)	介護の仕事、学習をしている外国人(外国出身)の皆さんのオンライン交流会	オンライン	26名
1月10日(火)	国境をこえて活躍する日本人介護福祉士活動報告	オンライン	20名
3月10日(金)	外国人介護福祉士の体験談から学ぶ～日本での介護の学習、就労をふりかえって～	オンライン	20名

## (5) 介護福祉を通じて、東京都民の社会福祉の増進や権利擁護に資する事業

### (ア)介護の日啓発活動等

介護についての意見などを発信していくため、公的機関からの派遣依頼を受け各種委員会に委員を派遣する。

実施せず

### (イ)地域ブロック活動

介護福祉士として、専門的スキルを研鑽し、専門職相互の連携を図り、地域福祉の増進と後継者育成に努めることを目的に、各区市町村又は地区において会員のみならず関係機関や介護に興味をもつ方たちの交流を深め、職域を超えた支え合いや地域特性を生かした活動を行った。現在、町田市介護福祉士会、杉並区介護福祉士会、八王子ブロック、西東京ブロック、調布ブロック、大田ブロック、障害福祉部が活動しており、地域ブロック統括部が統括している。

日時	ブロック名	内容等	会場	参加者数
4月15日(金)	町田市介護福祉士会	町田介護人材開発センターのネットワークサポート委員会の委員の選任	町田市民フォーラム第2学習室	7名
4月15日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	4
5月20日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	5
5月30日(火)	大田ブロック	昨年度の振り返りと、今年度の目標を考えよう	大田区消費者生活センター	7名
6月12日(日)	西東京地区ブロック会	インクルシネマ(障がい者映画鑑賞会外出支援)付添い	対象者ご自宅～イオンモールむさし村山	2
6月17日(金)	町田市介護福祉士会	〃市民向けの講習会の内容の役割分担の検討、町田介護人材開発センターのネットワークサポート委員会報告、	町田市民フォーラム第2学習室	5名
6月17日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	5
6月26日(日)	西東京地区ブロック会	みんなのコンサート(寸劇:認知症対応の良い例悪い例)	東村山市 秋津公民館	4

7月15日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉 in 町田事例研究発表テーマ	町田市民フォーラム 第2学習室	6名
7月15日(金)	西東京地区ブロック会	情報交換と養成校とのコラボ企画の検討	Zoom	6名
8月19日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉 in 町田事例研究発表テーマ、市民向け介護講習会打ち合わせ	町田市民フォーラム 第2学習室	5名
8月19日(金)	西東京地区ブロック会	情報交換と養成校とのコラボ企画の検討	Zoom	4名
8月23日(水)	大田ブロック	夏バテ対策 ～良いケアをするために、自分の体のケアを考えよう～	大田区消費者生活センター	7名
8月28日(日)	西東京地区ブロック会	夏祭り(手伝い、介護福祉士の魅力をチラシ配布)	東村山市 秋水園ふれあいセンター	2名
9月16日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉 in 町田事例研究発表、市民向け介護講習会打ち合わせ	町田市民フォーラム 第2学習室	5名
9月16日(金)	西東京地区ブロック会	情報交換と養成校とのコラボ企画の検討	Zoom	5名
10月21日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉 in 町田事例研究発表打ち合わせ	町田市民フォーラム 第2学習室	9名
10月21日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	7名
11月18日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉 in 町田事例研究発表打ち合わせ	町田市民フォーラム 第2学習室	9名
11月18日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	3名
11月22日(火)	大田ブロック	聞いてみよう！私のお金は大丈夫？	大田区消費者生活センター	6名
11月27日(日)	西東京地区ブロック会	福祉バザー(手伝い、介護の魅力をパネルで紹介)	東村山市 秋水園ふれあいセンター	3名
12月16日(金)	町田市介護福祉士会	アクティブ福祉、介護講習会、介護福祉士受験対策直前講座報告、次年度計画	町田市民フォーラム 第2学習室	9名
12月16日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	2名
1月5日(木)	西東京地区ブロック会	養成校授業(介護職の魅力や働きがい伝える)	日本福祉教育専門学校	5名
1月20日(金)	町田市介護福祉士会	次年度計画	町田市民フォーラム 第2学習室	9名
1月20日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	2名
1月21日(土)	西東京地区ブロック会	西東京地区ブロック会の活動紹介(～3月31日(金)まで)	YouTube 配信	-
2月17日(金)	町田市介護福祉士会	次年度計画、役割分担、SNS活用について	町田市民フォーラム 第2学習室	9名

2月17日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	5名
3月17日(金)	西東京地区ブロック会	コロナ過における地域活動や感染予防に関する情報共有	Zoom	7名
3月22日(水)	町田市介護福祉士会	SNSの活用について、町田市介護人材開発センターの運営委員の選出	町田市民フォーラム第2学習室	5名
3月24日(金)	大田ブロック	近況共有、情報交換、次年度に向けて	大田区消費者生活センター	4名

#### (イ)障害福祉部

障害分野に従事する介護福祉士が、相互の連携を図り、障害児者の福祉の増進や権利擁護に資する取り組みを推進することを目的に、研修・交流会等の活動を実施した。

日時	内容等	会場	参加者数
3月15日(水)	*1 障害福祉部スキルアップ研修/神経性難病の方へのコミュニケーション支援研修	フェニックスすぎなみ	16名
2月25日(土)	*2 訪問介護サービスに求められる障害者の在宅生活支援/支援者・当事者の方から学ぶ	北とびあ	22名

\*1 (1) (キ) 多職種連携研修会該当・記載

\*2 (3) (ア) 一般研修該当・記載

#### (ウ)青年部の活動

次の時代を担う若手会員が集い、若者ならではの新しい取り組みや、勉強会、介護福祉士と多様な主体との連携活動などを通じて、介護福祉士の未来を模索する活動を行う。また、養成校や学生などとの連携活動を通じて、次の時代を担う未来の介護福祉士たちが業界への未来を感じられる為の活動を行う。

実施せず

#### (エ)介護認定審査会委員の派遣

東京都の区市町村からの依頼により、医療、保健と並び、福祉に関する学識経験を有する者として会員を介護認定審査会の審査委員に派遣した。一次判定結果をもとに、認定調査員の調査結果と医師の意見書に記載された内容に基づき認定を行い、介護福祉士としての専門知識と実務経験に基づいて意見を述べた。

推薦者数 23名

#### (オ)障害支援区分判定審査会委員の派遣

東京都の区市町村からの依頼により、医療、保健と並び、福祉に関する学識経験を有する者として会員を障害支援区分判定審査会の審査委員として派遣した。介護福祉士としての専門知識に基づいて、介護給付に係る障害支援区分に関する審査及び判定、市町村の支給要否決定にあたり意見を述べた。

推薦者数 4名



(6) 公益社団法人日本介護福祉士会との連絡調整及びその事業への協力に関する事業

(ア) 介護福祉士全国一斉模擬試験の作問及び編集

公益社団法人日本介護福祉士会からの受託により、介護福祉士国家試験受験予定者を対象とした模擬試験の作問及び編集を、過去の国家試験の出題傾向や介護福祉に関する制度政策や実践研究等の動向を踏まえながら行った。

(7) 福祉サービス第三者評価

東京都福祉サービス評価推進機構の認証をうけて都内の事業所に対して第三者評価事業を実施し、介護サービスの質の向上等に資する取り組みを行った。

日時	施設名
令和4年6月21日～令和4年10月27日	砧ホーム
令和4年10月12日～令和4年12月14日	旗の台つばさの家
令和4年10月13日～令和5年3月14日	友愛園

(8) その他公益目的を達成するために必要な事業

(ア) 災害対策事業

令和5年度から、東京都の大規模災害時において、社会福祉施設、福祉避難所、さらには一般避難所へ福祉専門職を派遣する、東京都災害派遣福祉チーム（東京 DWAT）を組織化することが決まった。令和4年度は公益社団法人日本介護福祉士会、東京都社会福祉協議会などと連携しながら、災害時に介護福祉士が担う役割を確立するための仕組みづくりと災害時の福祉応援職員の派遣に関する啓蒙活動を行った。

日時	活動内容
令和4年11月25日/令和4年12月20日	令和4年度 東京都災害福祉広域支援ネットワーク連携訓練の実施
令和4年12月19日	公益社団法人日本介護福祉士会災害対策検討委員会第1回勉強会
令和5年2月1日～令和5年3月31日	「災害時の福祉応援職員派遣について考える研修会」動画配信

## 令和4年度附属明細書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 東京都介護福祉士会

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。